

(様式2)

校種	④・中 どちらかに○	学校番号	13	学校名	宇都宮市立峰小学校
----	---------------	------	----	-----	-----------

## 平成30年度 学習指導に関する取組

### 1 学習指導上の主な実態

#### (1) 国・県・市の学力調査などから

- ・ 国語については、観点別にみると、「話す・聞く能力」はどの学年も国・県・市の平均を上回っている。これは学校課題に「コミュニケーション能力の育成」を掲げ、取り組んできた成果が現れていると考えられる。「書く能力」、「読む能力」においては、4、6年生は国・県・市の平均正答率を上回っている。5年生は、各観点、県・市の平均正答率とほぼ同等だが、「言語についての知識・理解・技能」は約4%下回っている。リーフレットやレポートを書く活用問題において、依然として無回答率が高く、普段から文章を書くことに慣れ親しませ、書くことへの抵抗を減らす指導を継続していく必要がある。
- ・ 算数については、6年生は、各観点国・県・市の平均正答率を上回っている。4年生は、各観点、県・市の平均正答率とほぼ同等だが、5年生の「図形」「数量関係」は、県・市の平均正答率を5～7%下回っている。そこで、学習を進める際には、模型などの具体物やデジタル教材を有効活用し、児童が視覚的に理解できるような指導の工夫をしていきたい。また、言葉、数、図、表、グラフ等の表現方法を活用して、具体的な場面と関連付け、式に表すことを通して、二つの数量の間にもどのような関係があるかを調べたり、読み取ったりする力を養いたい。
- ・ 社会については、すべての観点において市の平均正答率を5%程度上回っている。今後も授業の中で基礎的な事項をしっかりと押さえ、さらに自分の考えを深めるための話し合い活動を取り入れた授業を展開していきたい。
- ・ 理科については、どの学年も国・県・市の平均正答率とほぼ同等である。科学的な知識を定着させるだけでなく、日常生活における現象や課題を、学習した知識で解決していく活動を充実させることで、思考力を伸ばしていきたい。

#### (2) 国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから

- ・ 「授業の始まりには席についている」については、全学年において肯定的に回答する児童の割合は90%以上だった。一方、「先生から指名されたら返事をしている」「話を最後まできちんと聞いている」については、肯定割合が低下した学年が複数あった。今後、地域学校園内で共通して、「授業前に学習の準備」「あいさつ（語先後礼）」「返事」の3つを重点的に指導することを確認したので、よい学習習慣が身に付くようにしたい。
- ・ 「宿題はきちんとやり、期限までに提出する」は、全学年において市の肯定回答率と同等であった。また、「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」という設問については、昨年度に比べ、全学年で肯定回答率が上昇した。昨年度より「家庭学習がんばり週間」を設け、保護者にも協力を呼びかけ定着を図ってきた成果であろう。継続して努力したい。

#### (3) 授業等への取組状況から

- ・ 全体的に授業への関心・意欲が高く、課題に真面目に取り組む児童が多い。また、自分の意見を発表しようとする意欲も高い。しかし、相手意識をもって分かりやすく話したり、友達と自分の考えとを比べながら聞いたりする力は十分に育っているとは言えない。このような状況及び外国語活動の教科化を踏まえ、引き続きコミュニケーション能力の育成を図っていきたい。

## 2 今年度の重点目標

- (1) 地域学校園：「自ら進んで表現できる児童の育成」
- (2) 峰小学校：「コミュニケーション能力の育成」  
～思いや考えをもって主体的に反応する児童の育成 外国語活動を中心に～

## 3 今年度の取組（「平成30年度指導の重点」に関する取組は文頭に□、授業における取組のうち重点は文頭に○）

- (1) 基礎・基本の確実な定着を目指した日々の学習活動の充実
  - ・ 話の聞き方、話し方の向上（通年）
  - ・ ノートの使い方や発表の仕方などの基本的学習技能の定着（通年）
  - 次の授業の準備、チャイム着席、返事、授業開始終了のあいさつ（基本は語先後礼）の徹底（通年）
  - ・ 漢字・計算定着のためのステップアップシートの活用、朝の学習での反復練習（通年）
  - 学んだことを振り返る活動の充実と、振り返りを意識した学習展開の工夫（通年）
  - ・ 「家庭学習の手引き」の活用や「家庭学習がんばり週間」の実施による家庭学習の習慣化（通年）
  - 各種学力調査結果を踏まえての復習やまとめの学習の実施（通年）
  - ・ 学力向上改善プランを踏まえた授業の実施
  
- (2) 読書活動の充実
  - ・ 朝の読書タイムの確実な実施による読書活動の推進（週2回）
  - ・ 読書の推奨や自分の読書活動を振り返る「みね読書人」の取組（通年）
  - ・ 読み聞かせボランティア（モーニングブック）による読書活動の推進（週1回）
  
- (3) 「コミュニケーション能力の育成」を図るための授業研究
  - 「しっかり話が聞ける、かしこい峰っ子の育成」を目指し、協働して課題に取り組む態度の育成（通年）
  - やりとりの中で積極的に思いや考えを伝える外国語活動の授業研究（通年）
  - コミュニケーション能力の育成を目指した授業公開（一人一授業）
  
- (4) 家庭・地域との連携・協力
  - ・ 保護者会における、学習内容定着度調査、学習と生活についてのアンケートの結果を生かした学習指導の説明及び家庭学習の大切さについての啓発
  - ・ 「街の先生」・宇都宮大学のボランティアなどの協力を得た授業や学習支援の実施
  - ・ 宮っ子ステーション「峰の寺子屋」の実践活動
  - ・ 学校支援ボランティアの活用（学習支援、環境整備、安全指導等）